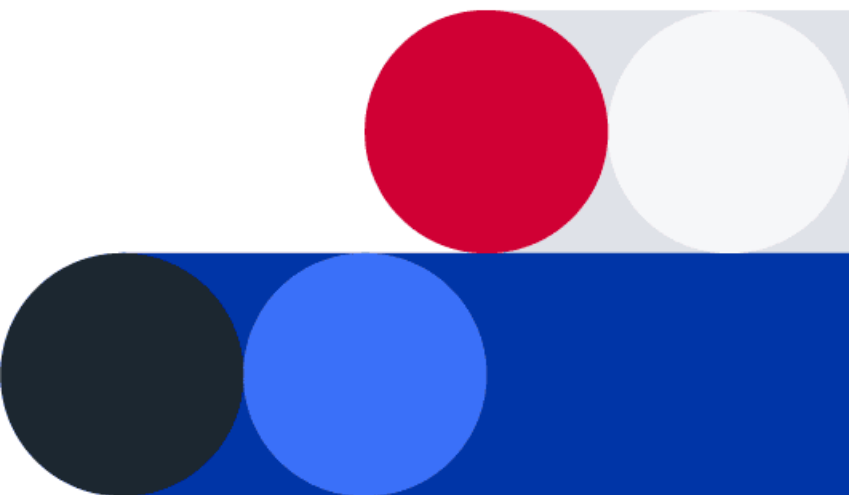


承認者設定パターン

株式会社ドリーム・アーツ



1. 本資料の前提
2. 承認者設定パターン概要
3. 各承認者設定方法の詳細

本資料の前提

ワークフローの担当者は以下 4 通りの設定方法があります。

基本情報

アクティビティ名 *	上長承認
種別	承認アクティビティ
絞込み分類	未指定 ▼
キー	
説明	バインダで選択した上長による承認ステップです (スキップ可)

参加者

動的な担当グループを使用する (?)

	担当者	代行者
1	部品 ロール 組織ロール アカウント	部品 ロール 組織ロール アカウント

1

部品 ★おすすめ

開始バインダに設定されているユーザが承認者になる

2

ロール

事前に設定した役割分類に該当する承認者が自動決定

3

組織ロール

事前に設定した組織の役割分類に該当する承認者が自動決定

4

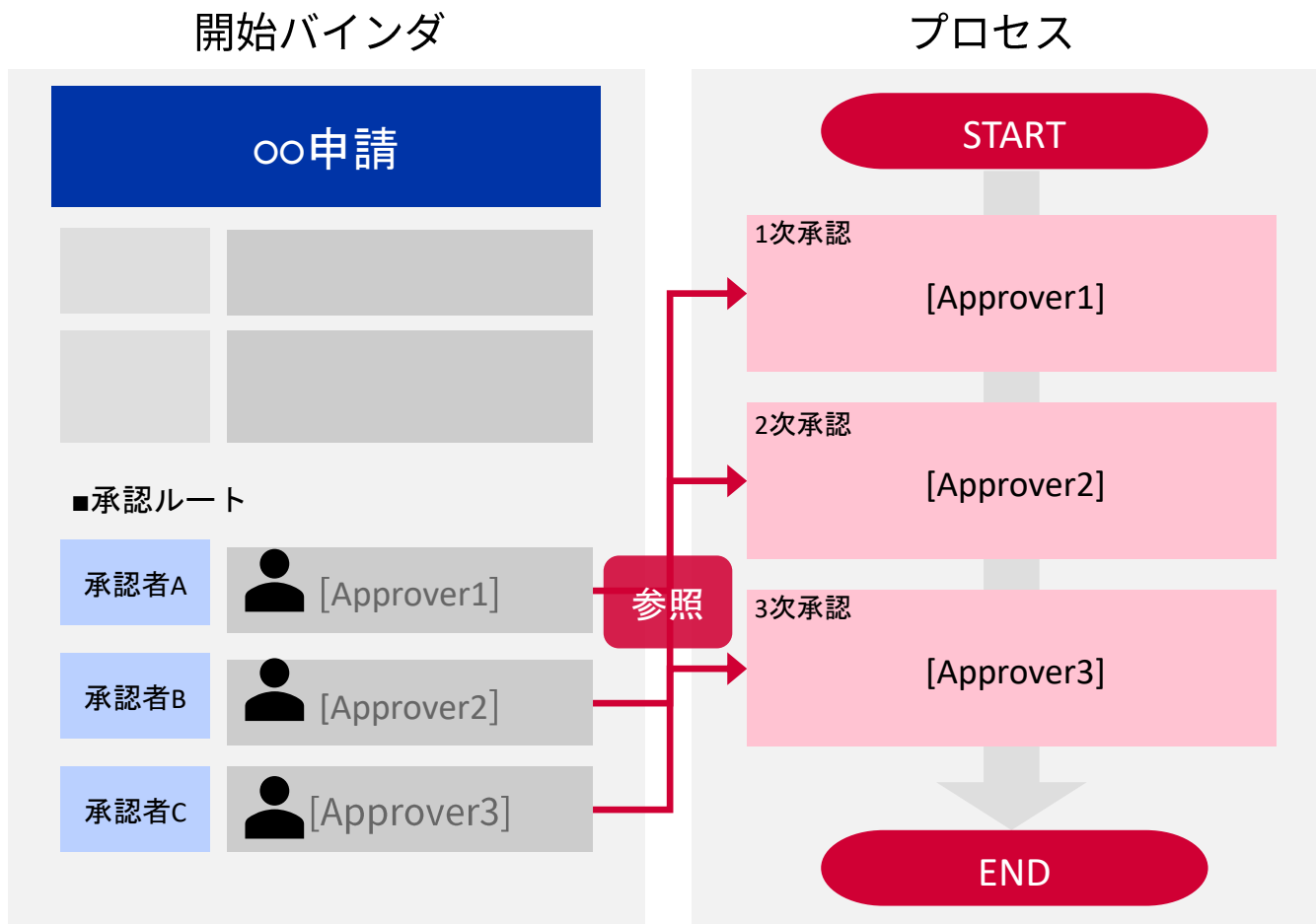
アカウント

事前に設定した固定のユーザ/組織が承認者になる

「部品」を利用したプロセス設定を前提に承認者設定について説明します。

※その他の設定については、巻末に掲載します。

部品利用イメージ



おすすめの理由

1. メンテナンスをバイнда側に集約できる。
2. 承認者による条件付け（フィルタ）設定を利用することができる。

承認者設定パターンの概要

設定方法は4パターンです。

1つの承認経路でも複数のパターンを組み合わせる場合もあります。

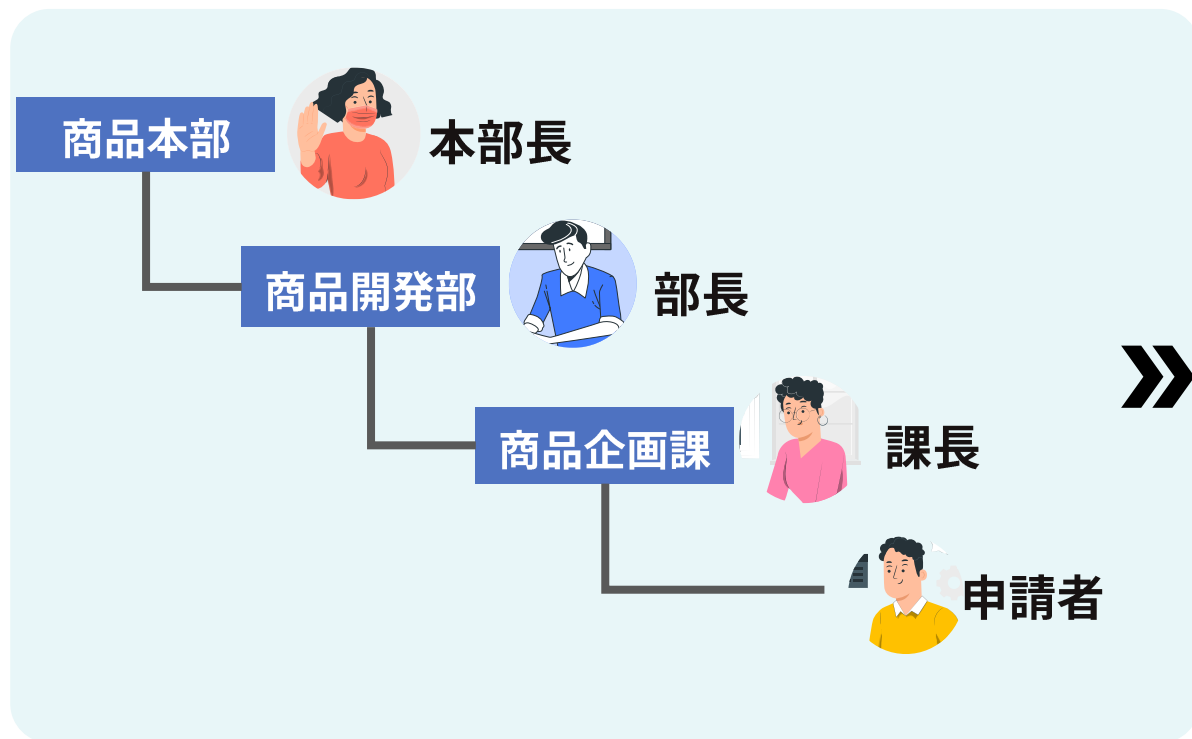
01 組織の詳細項目に設定する
上長(上長代行)を取得
[こちら](#)

02 組織共通の役割を設定する
組織ロールを取得
[こちら](#)

03 プロジェクトを利用した
グループ固定設定
[こちら](#)

04 承認ルートマスタバインダ
を作成し参照
[こちら](#)

各組織に**上長（上長代行）**を設定し、承認ルートで上長の値を自動取得する方法です。
稟議など申請者を起点に上長を取得していく場合に利用するのがおすすめです。



■ 承認ルート

1次承認者



【課長】若田 由美子

2次承認者



【部長】梅本 篤志

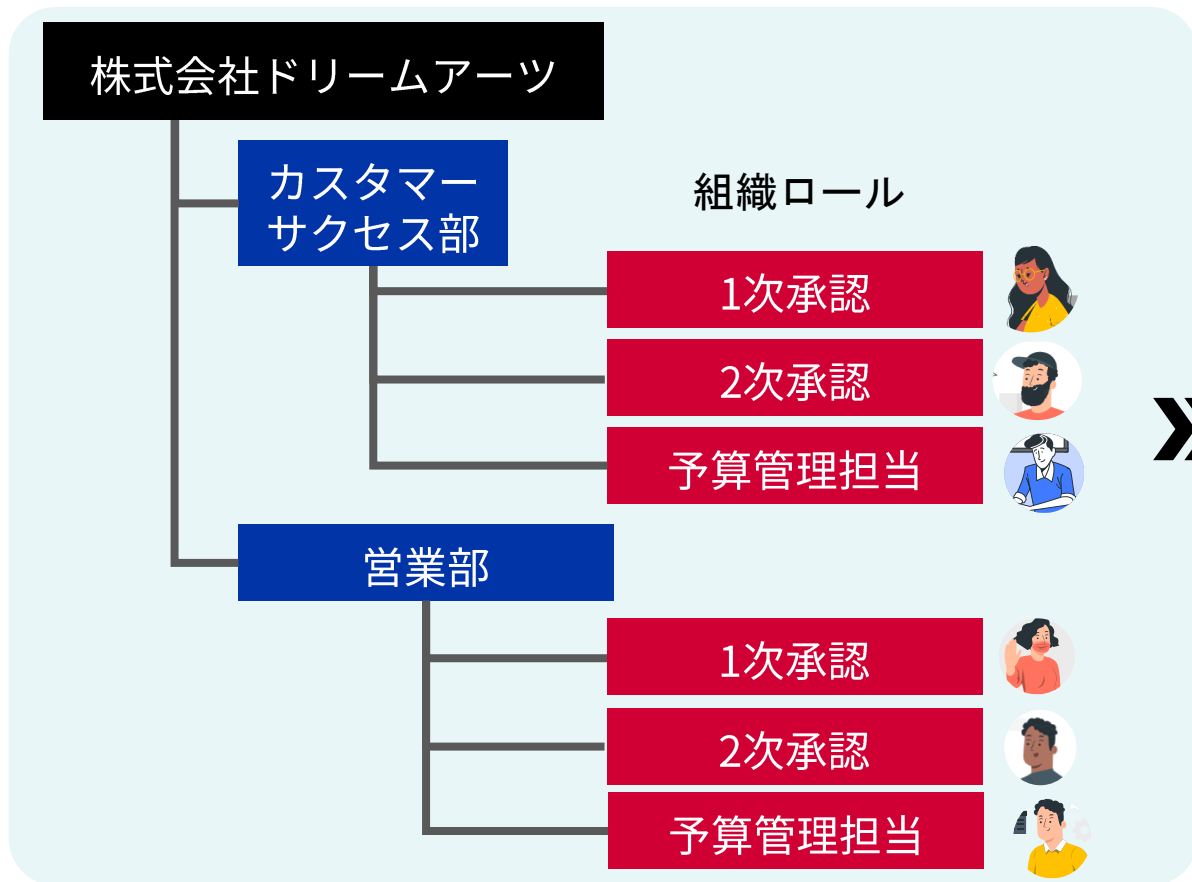
3次承認者



【本部長】黒川 隆平

[設定方法はこちら](#)

組織の共通役割として各組織に設定した**組織ロール**を自動取得する方法です。
部署ごとに担当者が異なる場合の利用がおすすめです。



承認ルート

予算担当者



[設定方法はこちら](#)

各組織ごとの**役割**（＝**ロール**）を設定できる機能です。

1. 部門共通の**役割**を定義

課長

部長

本部長

予算管理担当



上長以外にも各部署の役割担当者を設定することもできます

2. 定義された役割に**担当者**を設定

株式会社ハンズオン

第一営業部

課長



部長



予算管理担当



第二営業部

課長



部長



予算管理担当



ユーザ・組織を横断してアカウントをグループ化できる

プロジェクトを固定設定する方法です。

誰が申請者であっても特定の承認者を通る場合におすすめです。



受付窓口

 受付窓口グループ

[設定方法はこちら](#)

複数パターンの承認ルートを承認ルートマスタバイндаに用意し、参照する方法です。

複雑な申請パターンが存在する場合におすすめです。

例) 申請部署や申請金額に応じて承認者を変更したい

承認ルートマスタ	
■ 申請ケース	
申請ケース名	営業部 基本申請 (稟議以外)
■ 申請ルート	
1次承認者	 若田 由美子
2次承認者	 稲盛 勇樹
3次承認者	 梅本 篤志
4次承認者	 岡野 かおり
5次承認者	 黒川 隆平
確認者	 金城 光毅



承認ルート	
承認ルート選択	<input type="text" value="営業部 基本申請 (稟議以外)"/> 承認ルート選択
1次承認者	<input type="text" value=""/>  若田 由美子 選択
2次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>  稲盛 勇樹 選択
3次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>  梅本 篤志 選択
4次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>  岡野 かおり 選択
5次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>  黒川 隆平 選択
確認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>  金城 光毅 選択

※組織情報と紐づいていないため承認ルートマスタバイндаのメンテナンスが適宜必要となります。

[設定方法はこちら](#)

	パターン	システム管理設定	バインダ設定 (アカウント選択部品の設定)	ポイント
01	上長取得	各組織に上長設定 ※各組織に設定項目は1か所 (上長代行含めると2か所)	申請者or所属組織の上長を評価式で取得 ※上長が申請時を考慮してフォーム制御する必要がある	▲意図しない承認者に届かないように制御が必要になる。 ◎組織メンテナンスは、組織の上長1か所の変更で済む。
02	組織ロール取得	各組織に組織ロール設定 ※各組織に、上位組織の上長情報も含めて設定が必要	申請者の所属組織の組織ロールを評価式で取得	▲各組織に設定が必要なため組織メンテナンス時に変更箇所が多くなる。 ◎フォームをシンプルに作成できる。
03	プロジェクト固定設定	組織とは別に必要なプロジェクトを作成	初期値にプロジェクトを個別指定	▲申請者に応じて、承認者が変動する場合は向いていない。 ◎担当者変更時、アカウントで設定するよりメンテナンスコストが低い。
04	承認ルートマスタ参照	—	申請バインダとは別に、マスタバインダを作成してバインダ参照を設定	▲組織とは別にマスタバインダのメンテナンスが必要。 ◎承認ルートのメンテナンスを各部署に移譲できる。

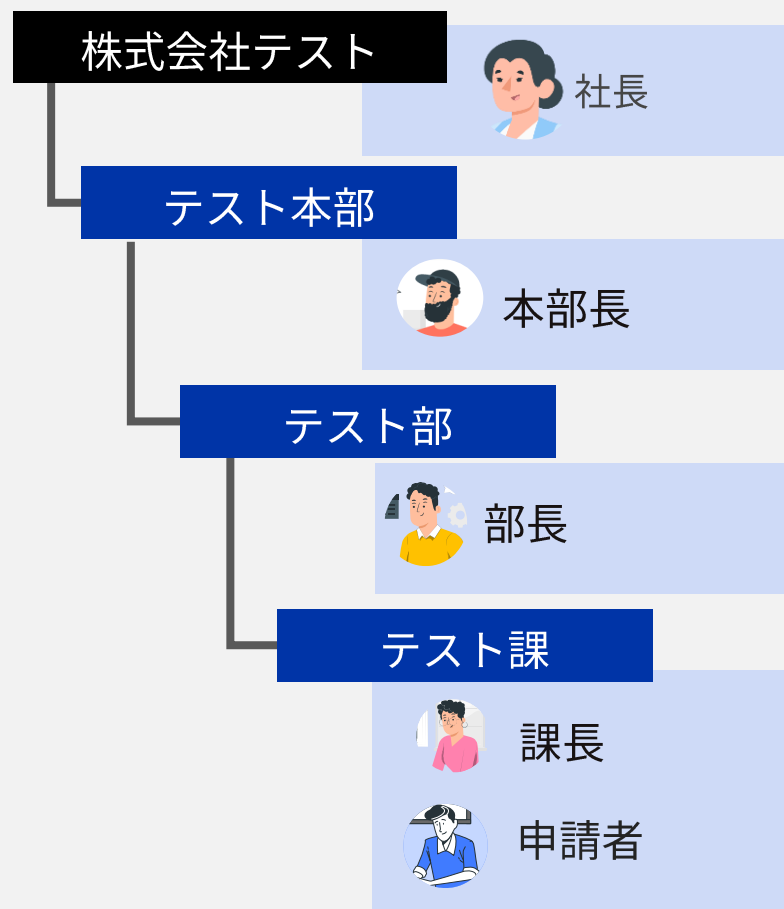
各承認者設定方法の詳細

01 上長機能を利用する

下記組織階層と承認フローがある場合の設定例を紹介します。

※申請者の上長をどのように取得するのかが設定検討のポイントとなります。

組織階層



承認フロー



申請者の**所属組織情報**から上長を取得する。

申請者が一般ユーザ		申請者が課長		申請者が部長	
基準アカウント(申請者) 金城 役職なし ※申請者より参照	基準アカウント(申請者)の所属 【金城】テスト課	基準アカウント(申請者) 金城 課長 ※申請者より参照	基準アカウント(申請者)の所属 【金城】テスト課	基準アカウント(申請者) 金城 部長 ※申請者より参照	基準アカウント(申請者)の所属 【金城】テスト部
組織の上長 金城 課長		組織の上長 金城 課長		組織の上長 金城 部長	
1階層上の上長 金城 部長	基準アカウント(申請者)の所属の1階層上 【金城】テスト部	1階層上の上長 金城 部長	基準アカウント(申請者)の所属の1階層上 【金城】テスト部	1階層上の上長 金城 本部長	基準アカウント(申請者)の所属の1階層上 【金城】テスト本部
2階層上の上長 金城 本部長	基準アカウント(申請者)の所属の2階層上 【金城】テスト本部	2階層上の上長 金城 本部長	基準アカウント(申請者)の所属の2階層上 【金城】テスト本部	2階層上の上長 金城 社長	基準アカウント(申請者)の所属の2階層上 【金城】テスト株式会社

POINT

- 申請者が役職者の場合、所属の上長を取得するので、**役職者=自分**が取得される

! 注意点

- 意図しない承認者に届く可能性がある
- 全社導入していない場合でも、業務関係者のアカウント部品が必要

※申請者と承認者が同じ場合、承認を自動実行することが可能。設定方法は[こちら](#)

SmartDB 組織

ダッシュボード

検索 CSろーん

グループ種別 組織

管理画面を閉じる

① 管理画面にアクセスし「組織」を選択

組織名	親組織	グループ名	グループ種別	人数	操作
CSローンチグループ	CS統括本部			10	編集
カスタマーサクセス部	CSローンチグループ			10	編集
新規獲得	CSローンチグループ			10	編集
recruit(test)	CSローンチグループ			10	編集

表示件数: 10 1-4 / 4

② 該当組織の「編集」を選択

各部署ごとに上長を設定していく

③ 「詳細項目」タブを選択

基本項目 詳細項目 組織ルール 拡張項目

付加情報 (namespace) smartdb

付加情報 (id) 2000012

ソート *

④ 上長のユーザを選択

上長

ユーザ複数選択

金条 光紀

上長代行

ユーザ複数選択

⑤ 「保存」を選択

保存 削除

① 申請者の所属部署を取得する部品を用意



② 承認者アカウント部品の評価式にチェックを入れて「設定追加」を選択



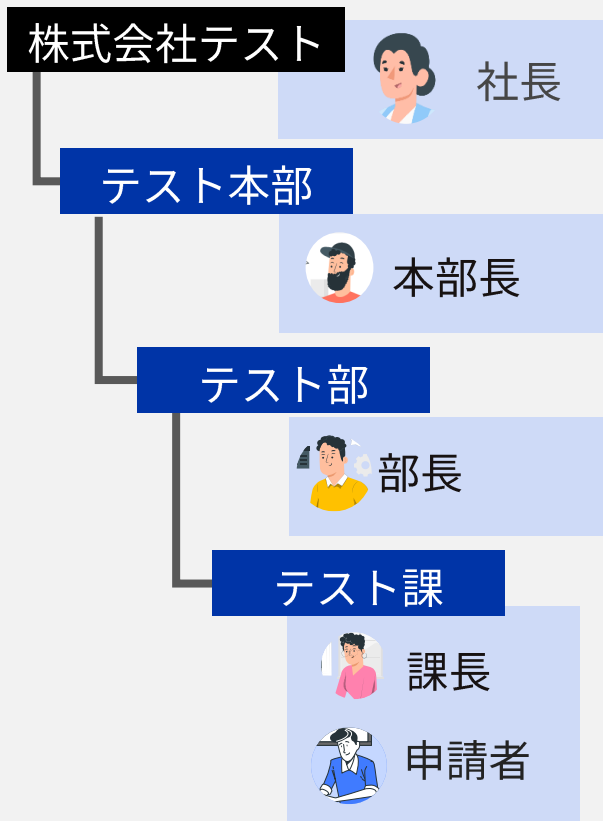
③ ①で作成した所属部署の「上長」を選択



社長など意図しない承認者に申請を回付させない方法として、承認者に値（ウェイト）を持たせる方法

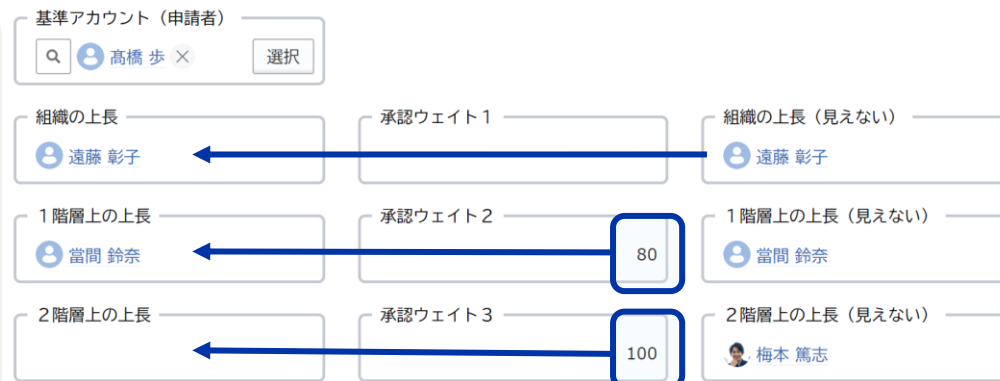
イメージ

組織階層



承認フロー

※社長は承認フローから外したい



ウェイトが100以上→値は入らない
ウェイトが100以下、もしくは空→値が入る。

ウェイトには承認の権限に応じた数字を持たせる。

例) 同じ部長同士でも、数字を分けることで、承認権限を分けることができる。※数字の値は任意

- 部長A→80
- 部長B→70

01 上長機能を利用する設定方法③：意図しない承認を回避

① システム管理画面でラベルの設定（拡張項目設定）
ウェイトを作成

業務情報05	業務情報06
業務情報07	業務情報08
業務情報09	業務情報10
業務情報09	承認ウェイト

1、項目をつくる
2、ウェイトには承認の権限に応じた数字を持たせる。

② ウェイトが100以上、または空でフィルタ定義を作成

フィルタ名	フィルタ条件
承認ウェイト1<100	下記条件のいずれかに一致する [10020] 承認ウェイト 1 次の範囲に含まれる値がない ≤ 承認ウェイト 1 ≤ 99 [10020] 承認ウェイト 1
承認ウェイト3<100	下記条件のいずれかに一致する [10022] 承認ウェイト 3 次の範囲に含まれる値がない ≤ 承認ウェイト 3 ≤ 99 [10022] 承認ウェイト 3

③ 承認ルートを参照する部品（表示用の部品）と隠し部品（見えない部品）を用意

承認ルート設定

基準アカウント（申請者）
高橋 歩

組織の上長
遠藤 彰子

1階層上の上長
當間 鈴奈

2階層上の上長

承認ウェイト 1

承認ウェイト 2 80

承認ウェイト 3 100

隠し部品

組織の上長（見えない）
遠藤 彰子

1階層上の上長（見えない）
當間 鈴奈

2階層上の上長（見えない）
梅本 篤志

④ 見える承認者のアカウント部品にフィルタと隠し部品の評価式を設定

承認者のアカウント部品設定

承認ウェイト 1	承認ウェイト 2	組織の上長（見えない）	1階層上の上長（見えない）
----------	----------	-------------	---------------

この評価式を有効にする

下記条件のすべてに一致する
承認ウェイト1<100

評価式
[10024]

削除 編集

02 組織ロール機能を利用する

申請者の所属組織情報にある組織ロールの値を取得する方法です。
 申請者の役職有無に関わらず組織情報に設定した値が取得されます。

申請者が一般ユーザ(課所属)

申請者が課長

申請者が部長

基準アカウント(申請者) 金城 役職なし ※申請者より参照

基準アカウント(申請者)の所属 【金城】テスト課

上長 金城 課長 ※申請者と同一人物の場合スキップ可能

上長の上長 金城 部長

上長の上長の上長 金城 本部長

基本項目 組織ロール

課長(上長)
 金城 課長
 部長(上長の上長)
 金城 部長
 本部長(上長の上長の上長)
 金城 本部長

基準アカウント(申請者) 金城 課長 ※申請者より参照

基準アカウント(申請者)の所属 【金城】テスト課

上長 金城 課長 ※申請者と同一人物の場合スキップ可能

上長の上長 金城 部長

上長の上長の上長 金城 本部長

基本項目 組織ロール

課長(上長)
 金城 課長
 部長(上長の上長)
 金城 部長
 本部長(上長の上長の上長)
 金城 本部長

基準アカウント(申請者) 金城 部長 ※申請者より参照

基準アカウント(申請者)の所属 【金城】テスト部

上長 金城 部長 ※申請者と同一人物の場合スキップ可能

上長の上長 金城 本部長

上長の上長の上長

基本項目 組織ロール

上長
 金城 部長
 上長の上長
 金城 本部長

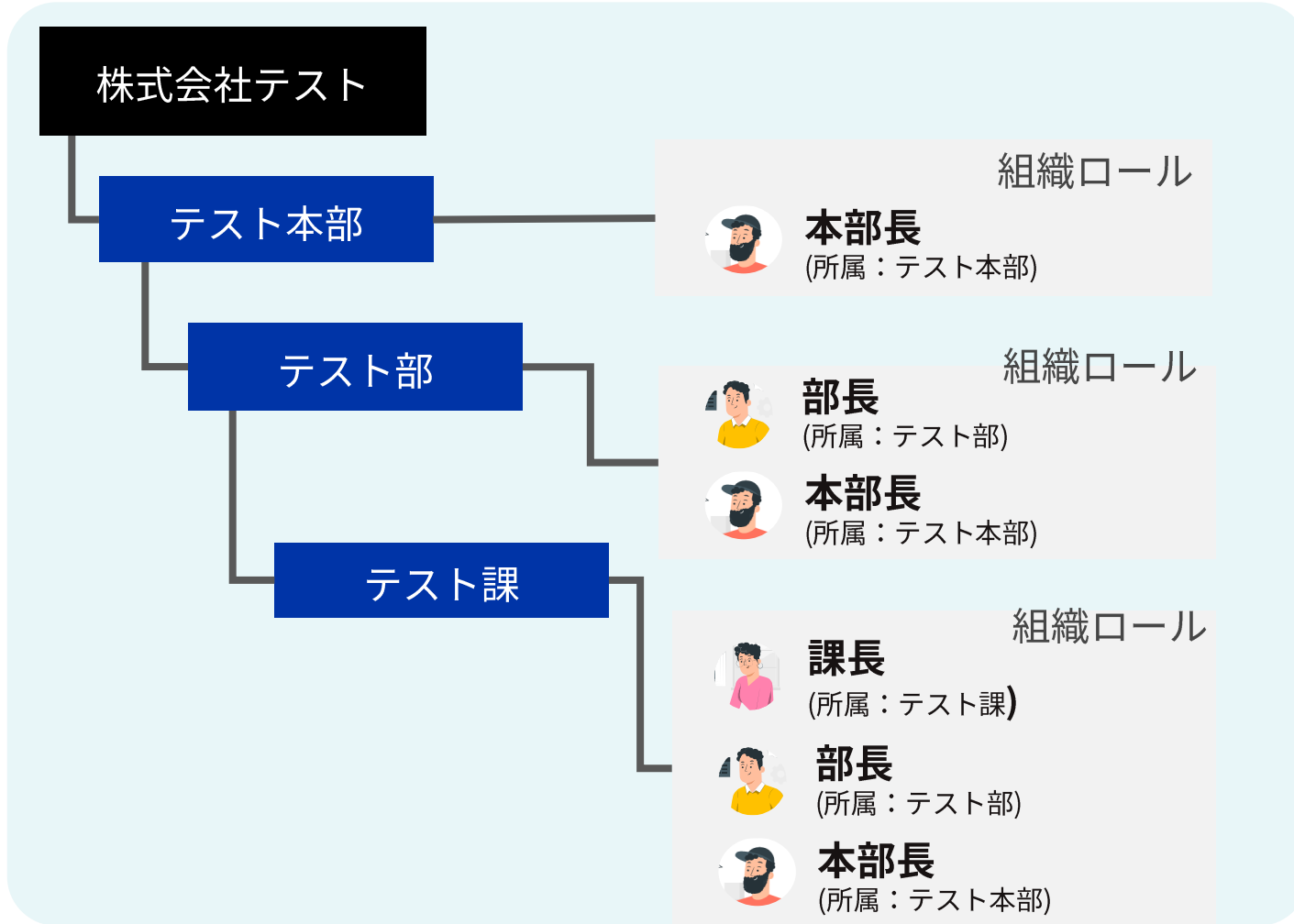
POINT

- 上長が申請しても承認者がズレない
- 各組織の組織ロールを取得すれば良いのでフォームをシンプルに作成できる

注意点

- 各組織ごとの承認者を全組織に設定が必要

組織ロールを利用して上長を取得する場合、
 役職者が申請した場合でも承認者のズレが発生することなく回付が可能となります。



テスト本部所属の一般ユーザ申請

■ 承認ルート

課長	スキップ スキップ
部長	
本部長	本部長

テスト部所属の一般ユーザ申請

■ 承認ルート

課長	スキップ
部長	
本部長	本部長

テスト課所属の一般ユーザ申請

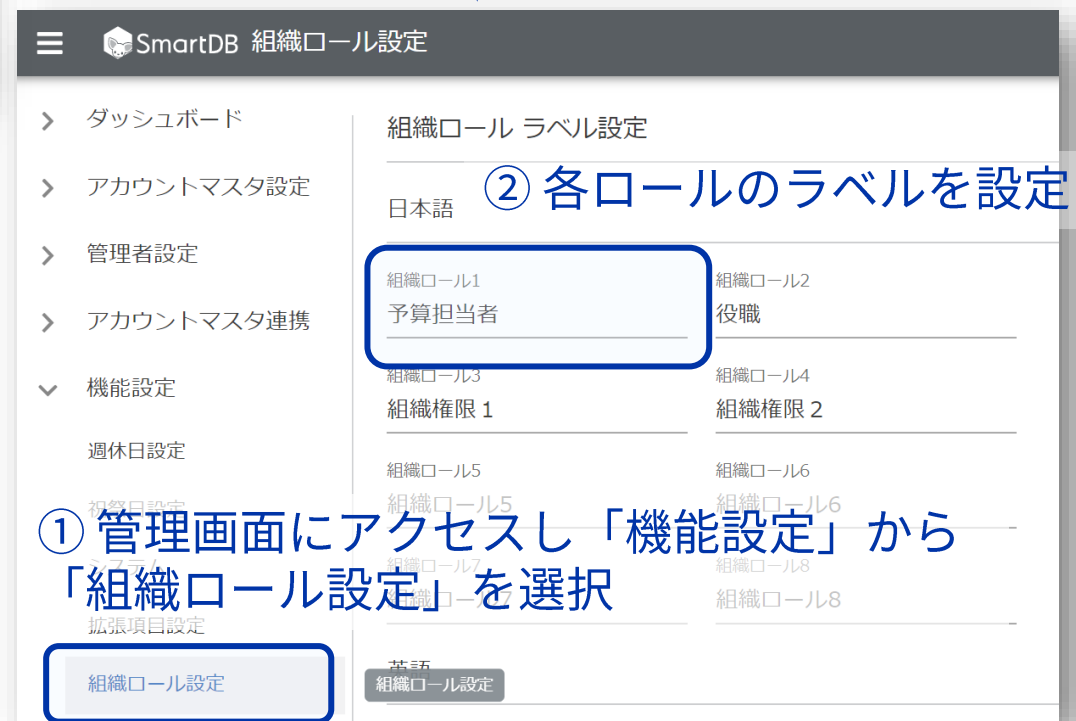
■ 承認ルート

課長	課長 部長 本部長
部長	
本部長	

※承認ルートに入っている場合でも、上位組織で申請をした場合下位組織の承認者には回付されません。



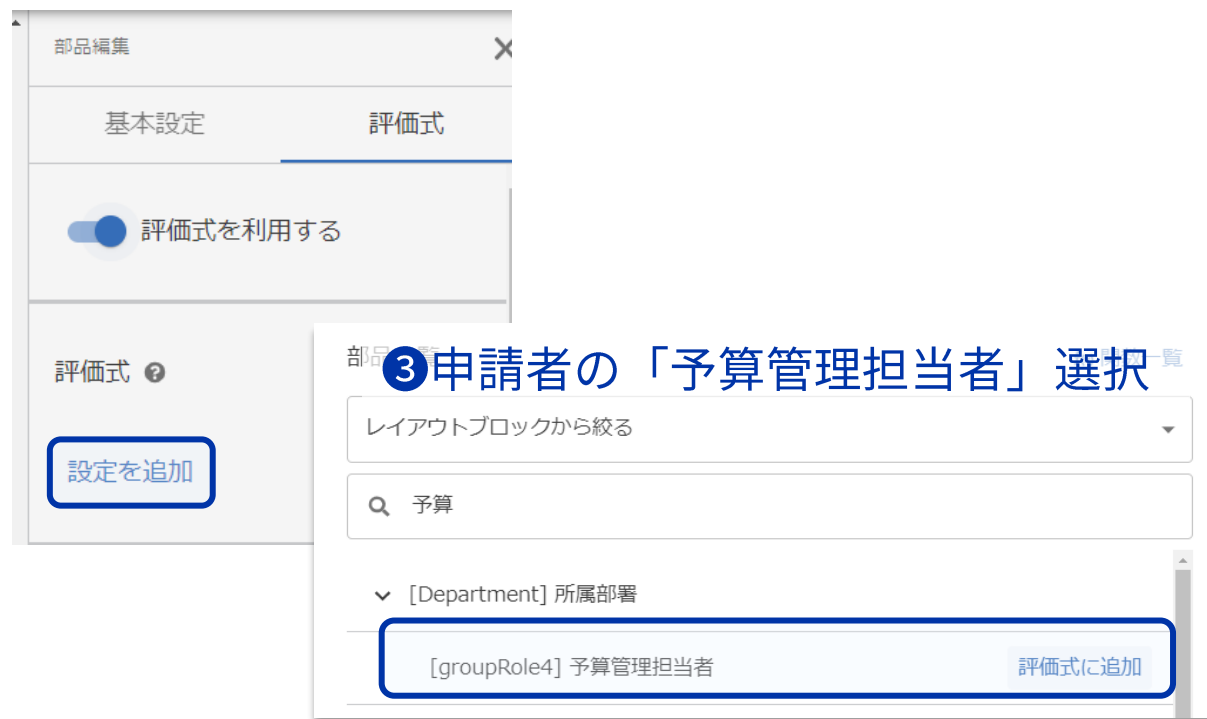
組織ロールの名前は任意に変更可能
※全組織共通の名前になります



① フォーム定義から承認者のアカウント部品を編集



② 評価式にチェックを入れて「設定追加」を選択



イメージ



申請者の所属部署に
指定されてる予算担
当者が承認者となる



03 プロジェクト設定を利用する

初期値に該当のプロジェクト設定。条件別の初期値設定・表示制御も可能。

■ 申請概要	
案議No.	20220006
起案日	2022/03/31
申請部署	ハンズオン部署(金城)
申請者	金城 洗毅
■ 申請内容	
申請種別	備品購入案議
件名	テスト
予算	5,000 円
起案理由・背景	
添付資料	
■ 承認ルート	
課長承認	金城 洗毅
部長承認	金城 洗毅
最終確認	受付担当(金城)

アクティビティ名	実施日時	実施者	コメント	実施アクション	所要時間
Start	2022/03/31 14:06				
課長承認	2022/03/31 14:06	金城 洗毅			
部長承認	2022/03/31 14:06	金城 洗毅			
最終確認	2022/03/31 14:06	受付担当(金城)			
本人確認	2022/03/31 14:07				
End	2022/03/31 14:07				

予算10万以下

■ 承認ルート	
課長承認	金城 洗毅
部長承認	金城 洗毅
最終確認	受付担当(金城)

アクティビティ名	実施日時
Start	2022/03/31 14:06
課長承認	2022/03/31 14:06
部長承認	2022/03/31 14:06
最終確認	2022/03/31 14:06
本人確認	2022/03/31 14:07
End	2022/03/31 14:07

予算10万以上

■ 承認ルート	
課長承認	金城 洗毅
部長承認	金城 洗毅
受付担当	受付担当(金城)
役員承認	役員(金城)

アクティビティ名	実施日時
Start	2022/03/31 14:13
課長承認	2022/03/31 14:13
部長承認	2022/03/31 14:14
最終確認	2022/03/31 14:14
役員承認	2022/03/31 14:14
本人確認	2022/03/31 14:27
End	2022/03/31 14:27

POINT

- 固定の承認者設定時、個別にアカウント設定するよりも**メンテナンスコストを低減**できる（次ページ参照）。

！ 注意点

- 申請者に応じて変動する上長取得などには向かない。

プロジェクト

組織

ユーザ

プロジェクトとは

組織横断でユーザ・組織でグルーピングする機能

業務効率化プロジェクト

総務部

A部長

B課長

稟議受付担当

Aさん

Bさん

Cさん

役員グループ

A役員

B役員

C役員

管理者グループ

IT部

A部長

B部長

利用シーン

- 組織図にないチームを作成
- 権限を付与するメンバーを作成
- 通知定義の通知先を作成
- ワークフローの承認者を作成 ★ 今回はこのパターン

承認者に利用する場合の運用イメージ

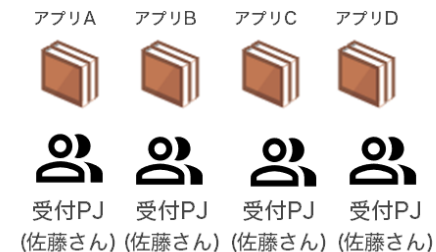
複数アプリに同一承認者が設定されている場合

承認者をユーザで設定



バイндаひとつひとつの
設定を直す必要がある

承認者をプロジェクトで設定

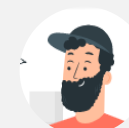


プロジェクトの所属ユーザを
修正するのみ

担当者変更時、
プロジェクトの所属ユーザを変更するだけでOK



(前任)
佐藤さん



(新任)
鈴木さん

4月1日付切替

SmartDB プロジェクト

管理画面を閉じる

検索

グループ種別
プロジェクト

登録

プロジェクト名	親組織	ソート	
CSVプロジェクト遠藤	CSVテスト遠藤	2	編集
CSX3Gプロジェクト	株式会社ドリーム・アーツ	10	編集
		10	編集

①管理画面にアクセスし「プロジェクト」を選択

②「登録」を選択して特定のグループを作成

SmartDB プロジェクトを登録

一覧へ戻る

基本項目 詳細項目 拡張項目 言語別情報

プロジェクト名 *

プロジェクト名 (かな) *

親組織 *

株式会社ドリーム・アーツ

所属ユーザ

ユーザ複数選択

所属グループ

組織選択

グループ管理者

ユーザ複数選択

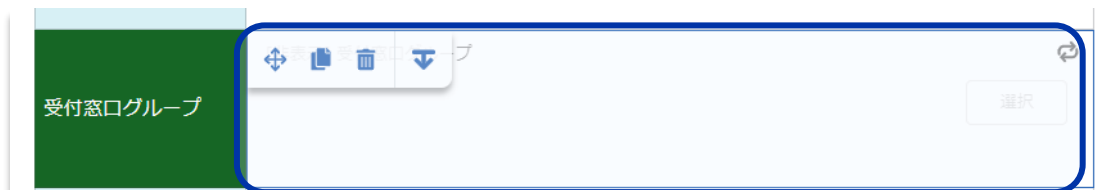
保存

③特定グループの担当ユーザを選択

④「保存」を選択

特定の担当者が変わった場合には、
この画面からユーザを変更してメンテナンスしてください

① フォーム定義から承認者のアカウント部品を編集



② 初期値に個別指定を選択し、固定したいアカウントを設定



イメージ



04 承認ルートマスターを利用する

承認ルートを管理するバイндаを用意することで
 入力内容に応じて自動もしくは簡単に承認ルートを設定できます。

承認ルートマスターバイнда

申請バイнда

■ 承認ルート バイнда参照ボタン

承認ルート選択

1次承認者

2次承認者

3次承認者

確認者

4件中 1~4件を表示しています。

	操作	申請ケース名	1次承認者	2次承認者	3次承認者	確認者	編集
1	<input type="radio"/> 詳細	【金城】テスト課	金城 課長	金城 部長	金城 本部長	金城 社長	編集
2	<input type="radio"/> 詳細	【金城】テスト本部	金城 本部長	金城 社長			編集
3	<input type="radio"/> 詳細	【金城】テスト部	金城 部長	金城 本部長	金城 社長		編集
4	<input type="radio"/> 詳細	株式会社AEデモ	佐藤 隆之	佐藤 隆之	佐藤 隆之	佐藤 隆之	編集

キャンセル 新規登録 選択を解除 選択

あらかじめ登録しておいた承認ルートを選択

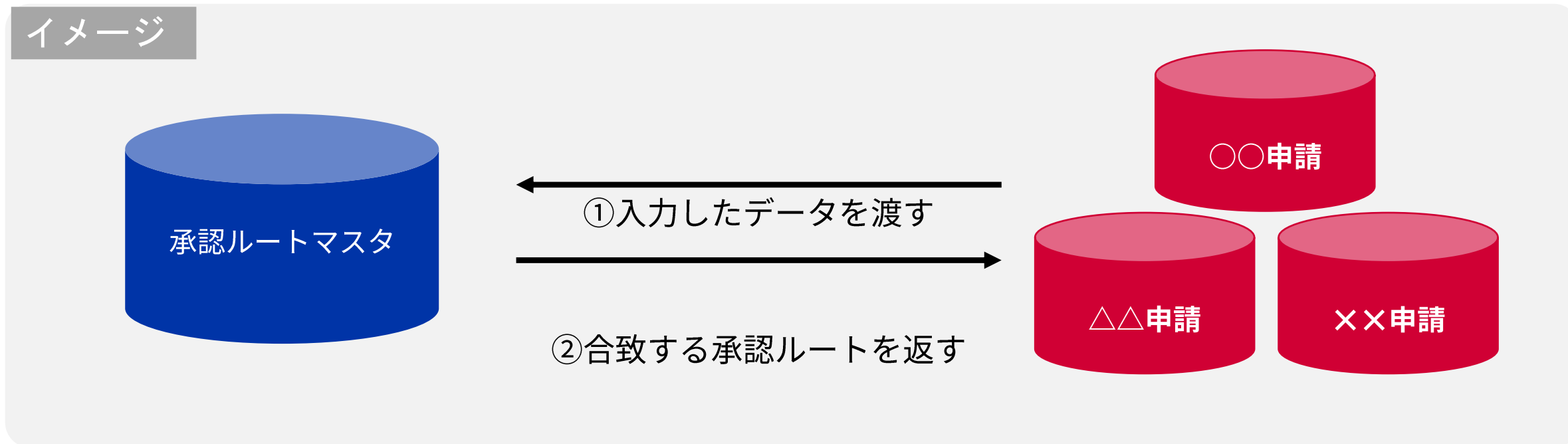
POINT

- 上長が申請しても、階層がズレない
- 承認ルートのメンテナンスを各部署に委譲できる

! 注意点

- 組織改編時や承認者変更時にはマスターバイндаのメンテナンスが必要

承認ルートマスタバインダを作成し、マスタの情報を申請書で参照します。



※1. 組織情報と紐づいていないため承認者が変更となる場合は適宜メンテナンスが必要となります。

※2. 承認ルートマスタは複数の業務アプリから共通のマスタとして利用できます。

1

テキスト1行部品のバインダ参照で絞りこむ方法

特徴:候補が一つしか出てこない。決められた候補一つが自動的にセットされる。

[設定方法はこちら](#)

2

バインダ参照と連携定義で絞りこむ方法

特徴:候補が複数出てくる。状況に合わせて自分で選ぶことができる。

[設定方法はこちら](#)

※プロセスの設定方法は共通です。

1

テキスト1行部品のバインダ参照で絞りこむ方法

特徴:候補が一つしか出てこない。決められた候補一つが自動的にセットされる。

「テキスト（1行）」部品のバイнда参照機能を使って、申請バイнда文書に記載された文字と同じ文字列を持つ承認ルートを自動参照することができます。

設定手順

承認ルートマスタの設定

申請バイндаの設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

部署、部署ID、各承認者の部品を用意する。
各部署ごとに文書を登録。

部署、部署IDの部品を設置

申請バイндаの部署IDと、承認ルートマスタの部署IDを紐づける。

申請バイндаの承認者欄に承認ルートマスタの値をlookupする評価式を設定する。

承認ルートマスタの設定

申請バイндаの設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

承認者を登録するマスタ（別バイнда）を作成します。

承認ルートマスタ

■ 申請ケース

管理部署 選択 ①

部署ID ②

■ 申請ルート

1次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>	選択 ③
2次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>	選択
3次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>	選択
4次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>	選択
5次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>	選択
確認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/>	選択

- ① 「アカウント選択部品」を設定
- ② 同じ文字列で一致させる「テキスト一行部品」を設定
- ③ 承認者を設定する「アカウント選択部品」を設定

作成ポイント

1. 汎用的に利用できるように**最大の承認ステップ数**でアカウント部品を用意する。
2. バイнда参照時に紐づけをわかりやすくするために**部品キー**と**項目名**は必ず設定する。

承認ルートマスタの設定

申請バイндаの設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

①承認ルートマスタバイндаに、それぞれ設定したい部署と部署ID、承認者を登録します。

文書一覧

全件 管理者用

検索 My検索

1件中 1~1件を表示しています。

操作	部署	部署ID	1次承認者	2次承認者	3次承認者
1 詳細	CSローンチグループ	200012	ドリーム 敦子	ドリーム 太郎	沖繩 太郎

②部署IDは評価式で取得します

条件と評価式 [10056] 部署ID

評価式の削除 キャンセル 保存

条件 評価式

部品一覧 f(x) 関数一覧

レイアウトブロックから絞る

部品ID・キー・項目名を入力

[10055] 部署

[mid] アカウント番号 評価式に追加

[name] 名前

[phoneticName] 名前 (ふりがな)

評価式入力ボックス

lookup(10055,'mid')

部署ID

部品編集

基本設定 評価式

基本設定

部品名

Aa テキスト (1行)

部品ID・部品キー (英数字のみ)

部品ID 10056 例: Date, Select

部署IDを設定する部品は必ず「テキスト (1行)」部品にしてください。

承認ルートマスタの設定

申請バイндаの設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

① 申請バイндаに申請者、所属部署、所属部署IDを用意します。

申請者	[非表示] 申請者	🔄
	<input type="text"/>	選択
所属部署	[非表示] 部署	🔄
	<input type="text"/>	選択
所属部署ID	[非表示] 部署ID	f(x) 🔄
	<input type="text"/>	
	「テキスト（1行）」部品	

ここでの所属部署IDが承認ルートマスタとの共通の文字列となります。
所属部署IDは必ず「テキスト（1行）」部品にしてください。
※所属部署IDではなくても、一意のキーになる文字列を設定してください。

承認ルートマスタの設定

申請バイндаの設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

テキスト（1行）設定

バイнда参照

使用する

参照先バイнда

バイнда名で検索

承認ルートマスタ...
CSXテストのテスト

① バイнда参照「使用する」をオン

② 参照先バイндаに、承認ルートマスタバイндаを設定

自動再計算

使用する

自動再計算の条件

選択済みのトリガー部品

部品を選択

参照先部品

[10056]部署ID

③ 自動再計算の説明は[こちら](#)。
更新させたくない場合は外す。

④ 参照先部品には、ルートマスタの部署IDを選択

⑤ 評価式の設定を開き、部署部品からIDを
取得する評価式を入れる

基本設定 評価式

評価式を利用する

評価式

評価式一覧を開く

この評価式を有効にする

下記条件のすべてに一致する

評価式

lookup(10013,'mid')

部署部品のアカウント番号
削除 編集

設定を追加

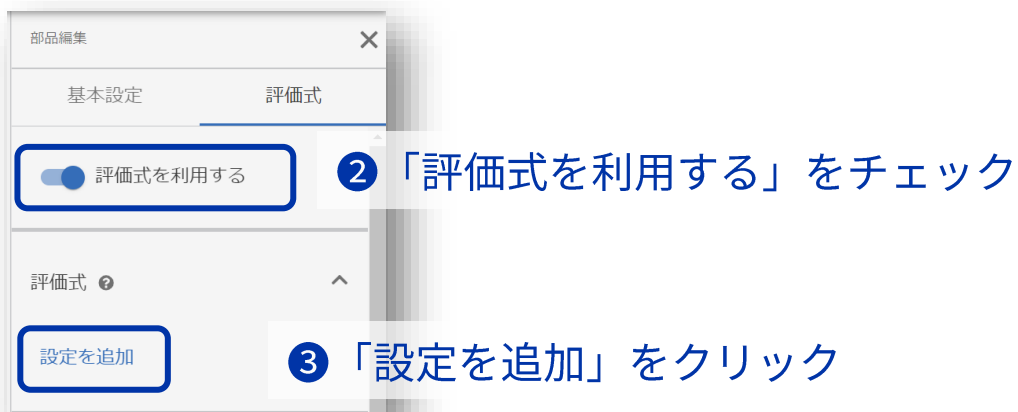
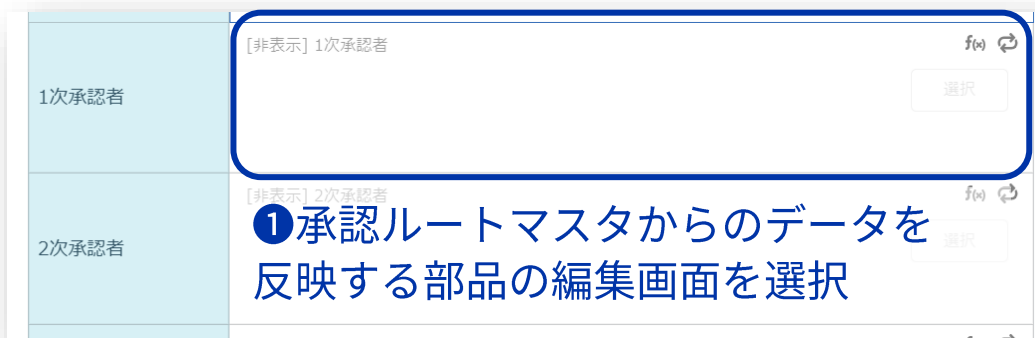
承認ルートマスタの設定

申請バイндаの設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

申請バイндаに承認ルートマスタの保有している承認者情報を自動転記できるように設定する。



⑦ 「編集可能にする」のチェックを外す

⑧ 「保存」をクリック

承認ルートマスタの設定

申請バイндаの設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

承認ルートマスタと申請書を紐づけているバイнда参照部品を利用して承認ルートマスタから承認者を自動参照する設定を行います。

承認ルートマスタから自動参照する処理を評価式に設定	
	バイнда参照部品 「承認ルート選択」から下記の部品を選択
1	部品名「2次承認者」 評価式 lookup(10065,'Approver2')
2	部品名「3次承認者」 評価式 lookup(10065,'Approver3')
3	部品名「4次承認者」 評価式 lookup(10065,'Approver4')
4	部品名「5次承認者」 評価式 lookup(10065,'Approver5')
5	部品名「最終確認者」 評価式 lookup(10065,'Checker')

1次承認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>		<input type="button" value="選択"/>
2次承認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	1	<input type="button" value="選択"/>
3次承認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	2	<input type="button" value="選択"/>
4次承認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	3	<input type="button" value="選択"/>
5次承認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	4	<input type="button" value="選択"/>
確認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	5	<input type="button" value="選択"/>

※P.42で行った設定を2次承認～確認者まで行います。
次は、[プロセスの設定](#)へ。

2

バインダ参照と連携定義で絞りこむ方法

特徴:候補が複数出てくる。状況に合わせて自分で選ぶことができる。

今回は [【申請系汎用テンプレート】](#) を元にご説明いたします

連携定義とバイнда参照機能を使って、
申請バイндаに登録された文字と同じ文字列を持つ文書を絞り込んで参照することができます。

設定手順

承認ルートマスタの設定

連携定義の設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

部署、部署ID、各承認者など必要な部品を用意する。
申請ケースごとに文書登録する。

承認ルートマスタバイндаと連携させ、特定の部品で絞り込みが出来るようにする。

申請バイндаに承認ルートマスタバイндаの値を参照できるように設定する。

申請バイндаの承認者欄に承認ルートマスタの値をlookupする評価式を設定する。

承認ルートマスタの設定

連携定義の設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

承認者を登録するマスタ（別のバイнда）を作成します。

承認ルートマスタ	
■ 申請ケース	
管理部署	<input type="text" value="CSローンチグループ"/> 1
申請ケース名	<input type="text"/> 2
■ 申請ルート	
1次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/> 3 <input type="button" value="選択"/>
2次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/> <input type="button" value="選択"/>
3次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/> <input type="button" value="選択"/>
4次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/> <input type="button" value="選択"/>
5次承認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/> <input type="button" value="選択"/>
確認者	<input type="text" value="全てのアカウントの検索"/> <input type="button" value="選択"/>

- ① 「アカウント選択部品」を設定
- ② 申請ケース名を記載する「テキスト1行部品」を設定
- ③ 承認者を設定する「アカウント選択部品」を設定

作成ポイント

1. 汎用的に利用できるように**最大の承認ステップ数**でアカウント部品を用意する。
2. バイнда参照時に紐づけをわかりやすくするために**部品キーと項目名**は必ず設定する。

承認ルートマスタの設定

連携定義の設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

申請バイндаに承認ルートマスタを選択して絞り込むための設定をする。

1 「連携定義」選択

2 連携定義名を記載

3 承認ルートマスタを選択

4 文書一覧画面を選択

5 絞り込みたい部品を設定

※今回は所属部署でルートを絞り込む

承認ルートマスタの設定

連携定義の設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

申請バイндаに承認ルート選択用のバイнда参照部品を作成し、承認ルートマスタ情報を参照する。

連携定義を使用するにチェックをして、p47で設定した連携定義を選択する。

① 「新フォーム定義」選択

② 「承認ルート選択」部品の隣の部品を選択

③ バイнда参照ボタンを選択

④ 参照先は「承認ルートマスタ」

⑤ リンクを表示するを選択

⑥ 連携定義を使用するを選択し、作成した連携定義を選択

バイнда参照ボタンの設定詳細については[こちら](#)

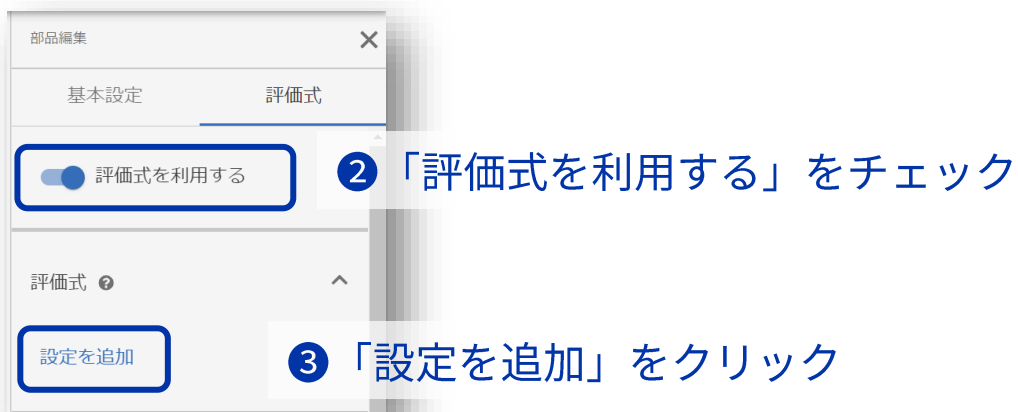
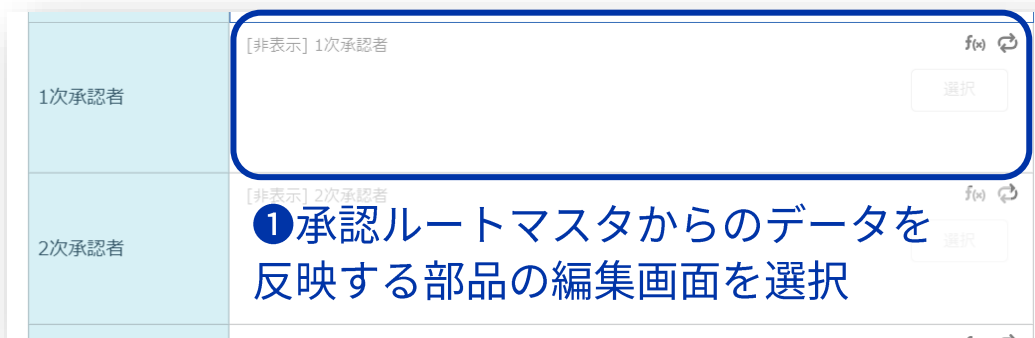
承認ルートマスタの設定

連携定義の設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

申請バイндаに承認ルートマスタの保有している承認者情報を自動転記できるように設定する。



7 「編集可能にする」の
チェックを外す

8 「保存」をクリック

承認ルートマスタの設定

連携定義の設定

バイнда参照の設定

評価式の設定

承認ルートマスタと申請書を紐づけているバイнда参照部品を利用して承認ルートマスタから承認者を自動参照する設定を行います。

承認ルートマスタから自動参照する処理を評価式に設定		
	バイнда参照部品 「承認ルート選択」から下記の部品を選択	
1	部品名「2次承認者」	評価式 lookup(10065,'Approver2')
2	部品名「3次承認者」	評価式 lookup(10065,'Approver3')
3	部品名「4次承認者」	評価式 lookup(10065,'Approver4')
4	部品名「5次承認者」	評価式 lookup(10065,'Approver5')
5	部品名「最終確認者」	評価式 lookup(10065,'Checker')

1次承認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	<input type="button" value="選択"/>
2次承認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	1 <input type="button" value="選択"/>
3次承認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	2 <input type="button" value="選択"/>
4次承認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	3 <input type="button" value="選択"/>
5次承認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	4 <input type="button" value="選択"/>
確認者	<input type="text" value="Q 全てのアカウントの検索"/>	5 <input type="button" value="選択"/>

※P.49で行った設定を2次承認～確認者まで行います。
次は、[プロセスの設定](#)へ。

① 「1次承認」をクリック

The screenshot shows a process flow editor with three activity blocks. The first block, labeled '04 【承認アクティビティ】 1次承認', is highlighted with a red and blue border. It contains four options: '承認[APPROVE]', '否認[DENY]' (with a red arrow pointing to '11 否認'), '取戻し[TAKEBACK]' (with a red arrow pointing to '03 取戻し'), and '差戻し[TURNDOWN]' (with a red arrow pointing to '02 差戻し'). Below it are two more activity blocks, '05 【承認アクティビティ】 2次承認' and '06 【承認アクティビティ】 3次承認', each with similar options and arrows.

参加者

 動的な担当グループを使用する ?

担当者

doc01 >> [Approver1] 1次承認者

② 「部品」
をクリック

部品

ロール

組織ロール

アカウント

担当グループ追加

部品選択

[doc01] 申請系汎用バイнда

③ 「1次承認者」の
チェックを選択し設定 [Approver1] 1次承認者 [Approver2] 2次承認者 [Approver3] 3次承認者 [Approver4] 4次承認者 [Approver5] 5次承認者 [Checker] 確認者

キャンセル

設定

※1次承認～最終承認まで同様の設定をしてください。

① 「1次承認」をクリック

04 【承認アクティビティ】1次承認

- 承認[APPROVE]
- 否認[DENY] → 11 否認
- 取戻し[TAKEBACK] → 03 取戻し
- 差戻し[TURNDOWN] → 02 差戻し

05 【承認アクティビティ】2次承認

- 承認[APPROVE]
- 否認[DENY] → 11 否認
- 差戻し[TURNDOWN] → 02 差戻し

06 【承認アクティビティ】3次承認

- 承認[APPROVE]
- 否認[DENY] → 11 否認
- 差戻し[TURNDOWN] → 02 差戻し

遷移条件

ボタン	条件	遷移先のキー
-----	----	--------

条件追加

② デフォルト遷移先のキー=APPROVEを設定

デフォルト遷移先のキー ?

APPROVE

詳細

コメントを求め
る 「コメントを求める」機能を利用する
依頼通知: 依頼通知オプションを利用する v

スキップ 「担当者・代行者共に空白の場合」にチェック

取戻し時の実施済みアクティビティ ?

担当者・代行者共に空白の場合 ?

自動実行条件 ?

担当者に直前アクティビティ実施者が含まれる場合

滞留時間を超える場合

適用

④ 「適用」ボタンをクリック

⑤ 「正式版として公開」ボタンをクリック

閉じる ドラフト保存 ドラフト破棄 ドラフト閲覧 正式版として公開 正式版確認 インポート エクスポート

※1次承認～最終承認まで同様の設定をしてください。

承認ルートによっては空白になる場合があります、空白の場合は**スキップ**とする。

※レイアウトブロック制御で条件に合致しない場合は非表示・空白としスキップされる設定にすることも可能。

4件中 1~4件を表示しています。

操作	申請ケース名	1次承認者	2次承認者	3次承認者	4次承認者	5次承認者	編集
1	営業部_稟議申請 100万以上500万以下	若田 由美子	稲盛 勇樹	梅本 篤志	金上 ひろき(SPD)		編集
2	営業部_稟議申請 100万以下	若田 由美子	稲盛 勇樹	梅本 篤志			編集
3	営業部_稟議申請	若田 由美子	稲盛 勇樹	梅本 篤志	金上 ひろき(SPD)	黒川 隆平	編集
4	営業部_基						編集

承認ルート

承認ルート選択 営業部_稟議申請 100万以下 承認ルート選択

1次承認者 若田 由美子 選択

2次承認者 稲盛 勇樹 選択

3次承認者 梅本 篤志 選択

4次承認者 スキップ 選択

5次承認者 スキップ 選択

確認者 伊達 直人 選択

承認ルート

承認ルート選択 営業部_稟議申請 100万以下

1次承認者 若田 由美子

2次承認者 稲盛 勇樹

3次承認者 梅本 篤志

4次承認者

5次承認者

確認者 伊達 直人

承認履歴

アクティビティ名	実施日時	担当者	コメント	実施アクション	所要時間
Start	2022/07/21 17:38	金城 洸毅			合計 2分
1次承認	2022/07/21 17:39	若田 由美子		承認	1分
2次承認	2022/07/21 17:39	稲盛 勇樹		承認	16秒
3次承認	2022/07/21 17:40	梅本 篤志		承認	59秒
確認	進行中	伊達 直人			9秒
End					

承認履歴には実際に承認した人のみ表示される

APPENDIX

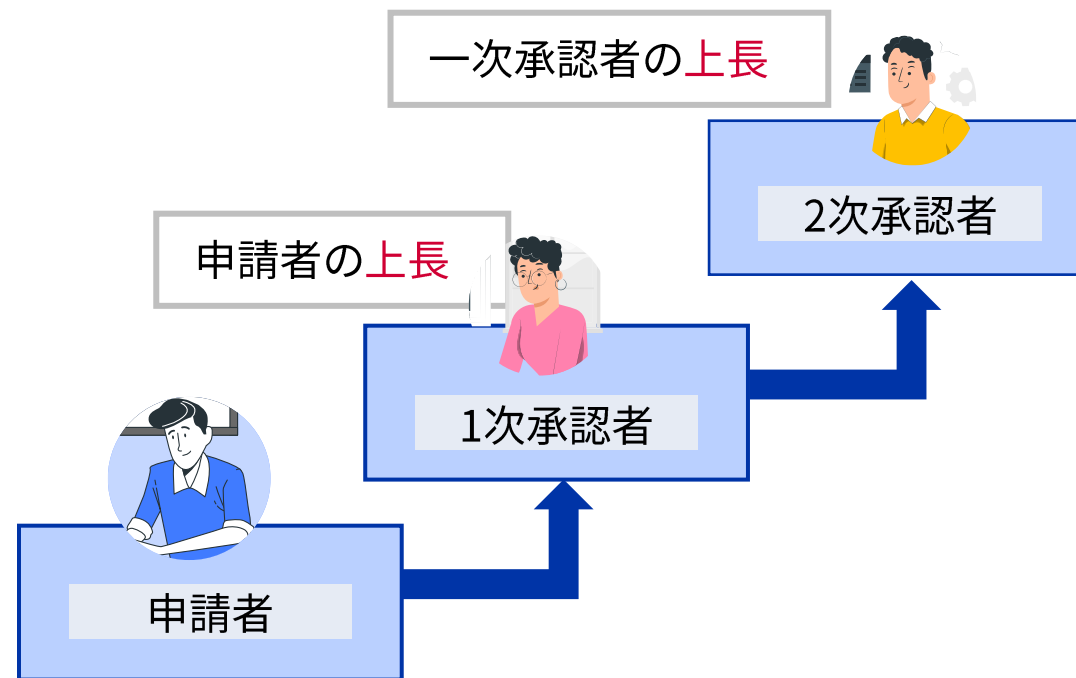
プロセス側の設定を部品以外で設定する場合

事前にプロセスで設定した役割分類に応じて該当する承認者が自動で設定されます。

設定できる役割分類

ロール選択			
開始文書	本人	上長	上長代行
開始バインダ管理者	<input type="checkbox"/>	-	-
開始文書登録者	<input type="checkbox"/>	-	-
このアクティビティの文書	本人	上長	上長代行
バインダ管理者	<input type="checkbox"/>	-	-
文書管理者	<input type="checkbox"/>	-	-
バインダ設計者	<input type="checkbox"/>	-	-
文書登録者	<input type="checkbox"/>	-	-
プロセス定義の権限	本人	上長	上長代行
プロセス開始可能者	<input type="checkbox"/>	-	-
プロセス定義 閲覧可能者	<input type="checkbox"/>	-	-
プロセス定義 更新可能者	<input type="checkbox"/>	-	-
進行管理者	<input type="checkbox"/>	-	-
履歴追加公開先	<input type="checkbox"/>	-	-
プロセスの権限	本人	上長	上長代行
直前アクティビティ担当者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
直前アクティビティ実施者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
業務開始者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
直前アクティビティ実施部署	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

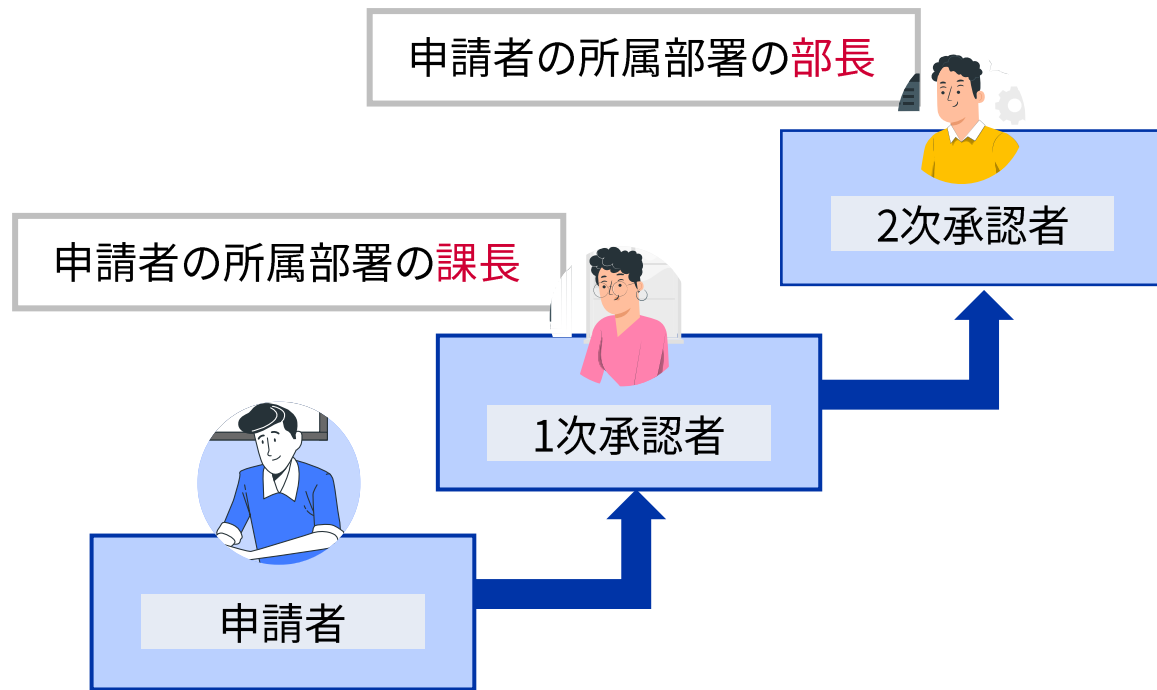
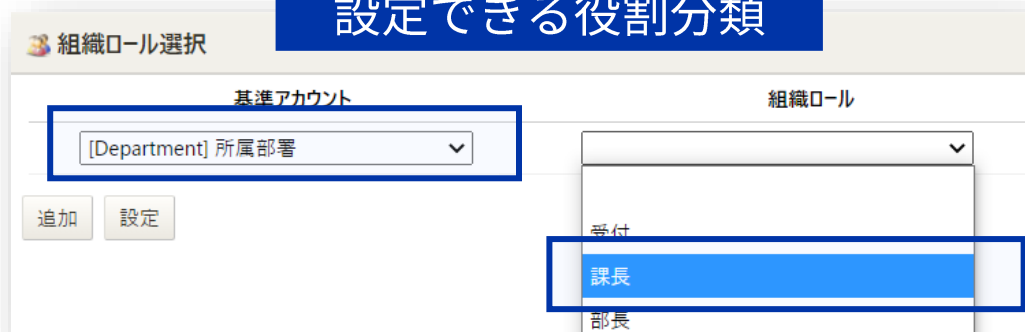
キャンセル 設定



「直前アクティビティ担当者」の「上長」にチェックを入れると、直前担当者の上長が自動的に選択されます。

基準となるアカウントの役割に応じて該当する承認者が自動で設定されます。

設定できる役割分類



システム管理画面で組織ごとに承認者を設定
 ※評価式でフォームに参照させることも可能です。

事前にプロセスで設定した固定のユーザや組織、プロジェクトが承認者になります。

参加者

動的な担当グループを使用する (?)

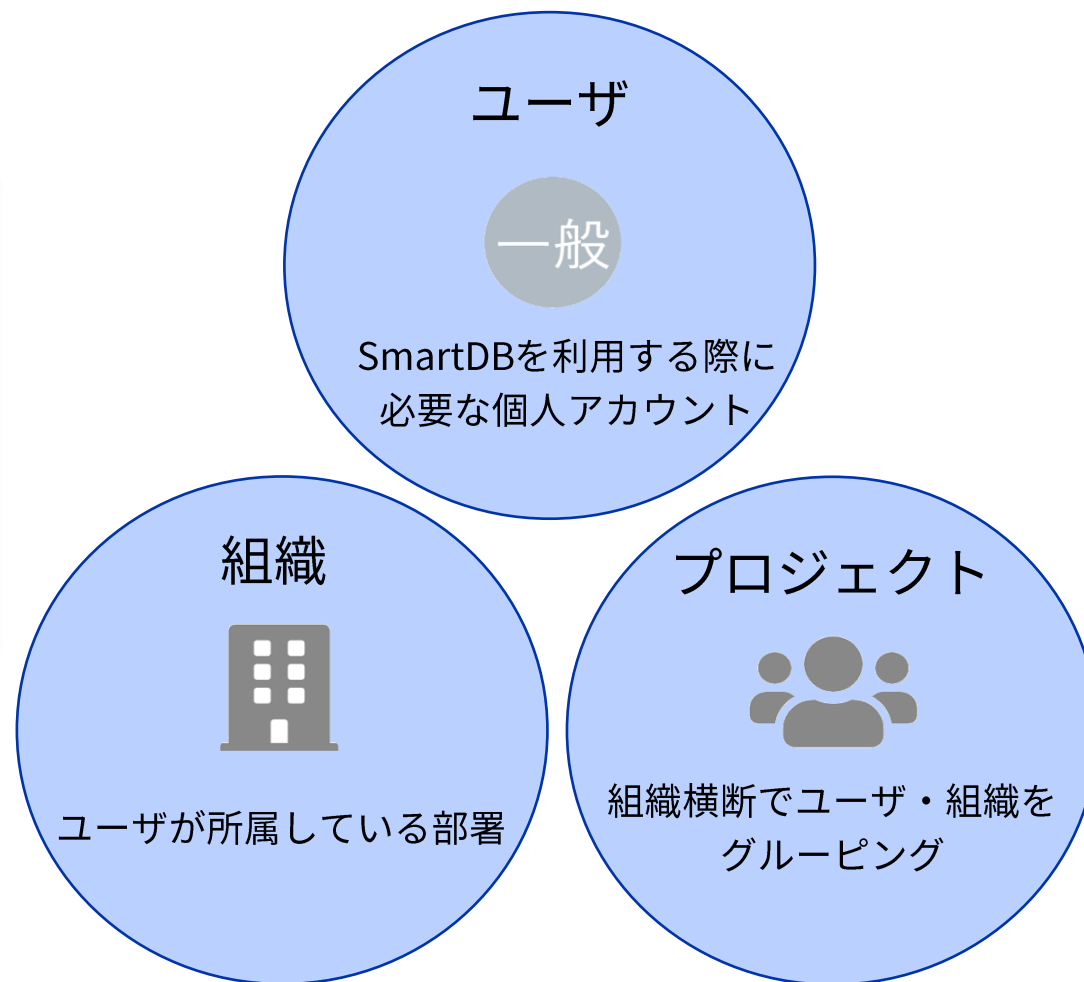
担当者	代行者
<div data-bbox="173 634 453 768" style="border: 2px solid blue; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> 経理部 営業推進PJ SmartDB管理者 </div>	

部品

ルール

アカウント

固定のユーザ・組織・プロジェクトを設定可能です。



DreamArts

<https://www.dreamarts.co.jp/>

